

議会報編集委員会 記録

1 日 時 令和3年6月10日（木曜日）

開 会 午前10時23分

閉 会 午前10時49分

2 場 所 議会会議室

3 出席議員 10人

委 員 長	金 谷 幸 則
副委員長	岡 部 享
委 員	金 岡 貴 裕
委 員	藤 田 克 樹
委 員	柏 佳 枝
委 員	田 辺 裕 三
委 員	豊 岡 達 郎
委 員	吉 田 修
委 員	押 田 祐
委 員	尾 上 一 彦

4 欠席議員 0人

5 職務のため出席した者

【議会事務局】

議事調査課長

野 嶽 誠 司

議事調査課調査係長

金 井 沙 織

議事調査課主任

牧 石 真 理

議事調査課主任

河 原 絢 加

議事調査課主任

田 伏 由 佳

6 協議結果について

- 1 とやま市議会だより（No.70）のレイアウトについて
配布資料の案を基本にして、作成していくことを決めた。あわせて、特集ページについては、案2とすることに決定。
- 2 その他
とやま市議会だよりに関する提案や意見について、配付の様式で提出することとする。

7 会議の概要

委員長 ただいまから議会報編集委員会を開会いたします。協議に先立ちまして、委員会記録の署名委員に柏委員、田辺委員を指名いたします。本日の協議事項は、「とやま市議会だより（No.70）のレイアウトについて」であります。

まず、お手元に配付のレイアウト案について、事務局のほうから説明をお願いします。

議事調査課長 〔資料（とやま市議会だよりNo.70レイアウト案）により説明〕

委員長 ただいま、レイアウト案について説明をいただきました。

最終ページの特集の政務活動費につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で、視察の中止等も大変多く、昨年は非常に使用金額が少なかったわけです。そういう意味では、これまでと異なる状況であるということを考慮いたしまして、正副委員長で協議の結果、2案を提示させていただきました。

これにつきましては、後ほど改めて皆さんからいろいろ御意見をいただきたいと思いますので、まずはこちらの最終ページ以外のレイ

アウト案について、皆さんに御意見をいただきたいと思っております。

レイアウト案につきまして何か御意見のある方は、挙手の上、お願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

よろしいですか。前回と同じ内容、レイアウトになっておりますので、特に御意見なしということであれば……。

押田委員

では、1ついいでしょうか。10ページの全国市議会議長会表彰という項目について、まだこれから肉づけされていくものだとは思いますが、「感謝状、五本 幸正（相談役）」とありますけれども、せっかく感謝状までもらっておられるのであれば、何の相談役か、あとどれぐらい勤められたのかを載せてもいいのではないかなということを1つお願いしておきます。また、柞山 数男議員について、議員25年以上と掲載されているこの記事を見て、どうして25年しかやっていないのかというふうな意見が出てもしようがないと思います。私も実は今日会派で、柞山議員はなぜ25年以上となっているのかと聞きました。町議会議員時の在職期間が半分になっている

ということの説明しないと、「あれっ、この人は」というふうに素朴な疑問が湧いて出ると思うのですよ。町議会議員時の在職期間は半分として計算するという、その計算方法の根拠を入れてあげないとかわいそうなのではないかなと。

ここは、せっかくの表彰をもらわれたことなので、少し気を遣って、今後、正副委員長で決めていただければと思います。

委員長 そうしましたら、事務局のほうで修正できますか。

議事調査課長 事務局で案を作成いたしまして、後ほどまた正副委員長と協議をさせていただきたいと思います。

岡部委員 表紙写真の提案をというお話がありまして、この間、押田委員は案を出していただいているわけですがけれども、いつ頃までに事務局へ出したほうがいいのかという期限はありますか。

議事調査課長 次回の議会報編集委員会につきましては、今のところ7月8日10時からを予定いたしております。業者のほうに提出をして、加工等のレイアウトの確認等もしたいものですから、

できれば6月いっぱいぐらいまでに何か案がございましたら御提案をいただきたいと思います。

委員長 ほかはよろしいですか。

〔発言する者なし〕

委員長 そうしましたら、先ほど押田委員から御指摘のありました表彰のところは事務局で少し肉づけをして、正副委員長で確認をするということといたします。

それと、写真に関しましては6月の末日まで、案なり写真なりがありましたら事務局のほうまで御提出をいただくということで、よろしかったですかね。

では、ほかにはないようですので、この件に関しては、この程度にとどめさせていただきます。

続きまして、先ほど後回しにしました最終ページのカラー案につきまして、この案1、案2のことに関して皆さんから御意見をいただきたいと思いますけれども、いかがでしょうか。

尾上委員 この政務活動費の特集を掲載するようになっ

てもう何回にもなると思うのですけれども、多分、一番最初にもどちらにするかというような議論があったというふうに思うのです。現在のものに決まった経緯は事務局で、分かりますか。

議事調査課長 この項目につきましては、平成30年であるとか令和元年くらいに、議会報編集委員会を含めまして、いろんな会派の方の意見も聞いた経緯があったということを知っております。いろんな意見を聞きながら、また協議を重ねながら最終的に支出額に行き着いたといった経緯につきましては、まず、恐らくは市民の皆様方はどんな項目で政務活動費が使われているのか、例えば、何十万円、何百万円交付された中で何に使われたかという使用項目をまず知りたいという興味があるのではないかとということがまず1点。

それから、表案1、案2を見比べていただきたいのですが、交付可能額ということにすると、未使用額の項目が1項目増えることによりまして、他の項目がちょっと狭くなって見づらくなるような部分もあるといったような2つの理由から、支出額をベースとしたグラフとしたということであったと思っております。

尾上委員

これまでの市議会だよりに掲載された政務活動費のグラフと今回出すものを比較する人がどれだけおられるかというのは分かりませんが、私としてはこれまでと同じようなやり方がいいのかなと、ここでいうところの案1でいいのかなというふうに思います。

押田委員

多分、私の記憶が正しければ、成田委員長のとときにその当時この特集を導入されたと思うのです。今から2年前ですね。そのときには、実はこちら側のスタイルのまま、交付可能額ではなくて交付額を掲載していたと思うのですよ。それが今、泉委員長に代わられてからか、成田委員長のとときだったかは忘れたのですけれども、使わなかったものを返却することもあったので、交付可能額に変わっていったということなのですけれども、結局、横棒の項目が変わらなければ、当時、1人会派と22人の会派ではパーセンテージでしか比べようがなかったというのが実はあるのですね。そう考えてみると、今回は、事務局が言われたとおり、文字は小さくなりますけれども、案2のほうが実態に伴っているというふうには思います。市民の方々が、どの会派がどの程度の金額をどの割合で何に使っているかを見るということであれば、案2で行かれ

たらどうかなというふうに私は思います。

委員長 ほかに何かございますか。

岡部委員 私も前回のときに案2を提案した一人でございます。やっぱり交付額全体でどこの部分にどれだけ使ったか、未使用額はどのくらいあったのかというところもグラフとして分かることが大事ではないかと思えます。そうせずに使った分だけで全体比を表すと、非常に大きく映る部分が出てしまうと。特に人件費なんかが大きく映ってしまう会派も出てしまうということでもありますので、できるだけ、交付額全体を見た中で、どれだけ使っているかというふうにしたほうがいいのではないかとということも主張したわけで、私としては案2というのが思いとしてあります。

委員長 ほかの方、新人の方も忌憚のない御意見をどうぞ。

金岡委員 今、お二方がおっしゃったように、「交付可能額」と「支出額」という欄があるので、この数字を基にしてつくるのであれば、交付可能額に対する未使用額もグラフに入れないとおかしいのではないかなと思います。

藤田委員 実際この政務活動費の特集で、市民の方に何を伝えたいかというところだと思いました。案1は、各会派の政務活動費の各項目における使用割合にフォーカスしたものだと思いました。案2は、それに加えて、使える政務活動費のうち、どれだけ会派が使っているかというメッセージを1つ追加しているといったグラフに見えますので、案2のほうが私はより市民の方に伝えるメッセージが多くていいと思いました。

押田委員 これは事務局に確認していただきたいのですが、交付可能額に対する未使用額とあるのですが、この中には、交付の申請をしたけれども、使用しなかった額というのは割り戻した金額でよろしいのですか。その確認をしていただきたい。

例えば、自民党が1,000万円の交付を受け、使用できたのは600万円だったら、400万円を市のほうに戻しているというのと、それと未交付の部分と合わせた金額がこの交付可能額に対する未使用額となっているのですか。

議事調査課長 この交付可能額という言い方なのですが、これは未使用額も含めて、本来は交付できるの

だけれども、使っていないものも含めたもの、全部含んだということになります。

押田委員 戻した金額も入っているということですね。

議事調査課長 戻した金額も入っております。

押田委員 そうしたら、ただこれだけを読むと、残額が入っているということが全く見えないと思うのです。確かに文字数の制限があるとは思いますが、交付可能額に対する未使用額プラス未交付額と残金と言えればいいのですかね一言葉はちょっと考えないといけないと思うのですけれども一というふうに書かないと正しくならないのではないかな。

（「残金ではなくて返納」と発言する者あり）

押田委員 考えないといけないというのはそこですね、未使用返納額と言えいいのか。

委員長 その表現は今、考えます。

吉田委員 「交付可能額に対する未使用額」という表現ではなくて「未使用額（返納額）」と。イコールでもいいです。そのほうが見た人は分か

りやすいのではないですか。

議事調査課長 一応可能額という中には、交付申請を実際には申請していない額も含んでという額になるので、全く未使用のものだけではないということです。

（「これでも合っているのだけれども、ちょっと不親切なような気がするだけ」「我々は分かっても市民が分かるのか」と発言する者あり）

委員長 ほかはよろしいですか。

尾上委員 私が案1を推したのは、今、コロナ禍で特殊な状況だというふうに思っていて、この未使用額が非常に大きく映るのが市民にとってどういうふうに捉えられるかというところをちょっと懸念したということもあります。政務活動費を減らせばいいのではないかという話になってくるのがどうなのかなと。

それを隠すという意味ではないのですけれども、そういうこともあって、これまでもずっとやっていて、そういう事情を分かっていただけののならそれはそれでも構わないというふうに思うのですけれども、これまでのグラ

フとのつながりとかも考えると、案1がいいのかなというふうに私は思っております。

委員長 ほかはよろしいですかね。

〔発言する者なし〕

委員長 特に御意見がないようであれば、挙手にて決めさせていただいてもよろしいですか。

岡部委員 今回の尾上委員の御意見については、調査研究費については、視察等が規制されたということや未使用額が大きくなっているというコメントを入れればいいのかというふうに思います。

委員長 それでは、改めてお諮りいたします。
案1か案2で皆さんに挙手をいただきたいと思えます。案1のほうが良いと思われる方。

〔挙手1名〕

委員長 案2のほうが良いと思われる方。

〔挙手8名〕

委員長

それでは、おおむね案2ということでしたので、先ほど尾上委員から御指摘のありました減額になった理由等をコメントとして加えたり、昨年から表記が変わったとか、そういう補足説明をちょっと加えて、基本的にはこの案2で進めさせていただきたいというふうに思います。

よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それでは、No.70のレイアウトについてと、最後の政務活動費については案2ということで決定をさせていただきます。

次ですけれども、私から皆さんに1点お願いがあります。この「とやま市議会だより」ですけれども、平成28年度から30年度にかけて、よりよい紙面を作ろうということでいろいろと協議を重ね、検討を重ね、表紙ですとかレイアウト案について大きな変更を行ったところでもあります。大変市民の皆さんからも見やすくなったというお声をいただくようになりまして、現在のレイアウトにつきましては、ある程度定着してきたものと思っております。

その一方で、今年は改選がありまして、新人

議員の皆さんをはじめ、新しい議員構成による議会がスタートしたところでもあります。このため、「とやま市議会だより」につきましても、一度、委員の皆さんから意見を募りまして、より分かりやすく見やすい議会報にするための検討をしたいと考えております。つきましては、「とやま市議会だより」に関する御提案や御意見がありましたら、お手元に様式をお配りしてあると思いますけれども、こちらの「とやま市議会だよりに関する提案事項について」というものに御記入をいただいて、これも今月いっぱい、6月30日までに事務局に提出いただきますようお願いいたします。

この提出をいただきました提案事項につきましては、次回のこの委員会でお示しして、9月定例会以後の取扱いについて、また皆さんと協議を進めてまいりたいというふうに思っております。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それでは、以上で本日の協議事項は全て終了いたしました。

確認ですけれども、次回の議会報編集委員会は7月8日木曜日午前10時から開催をいた

しますので、よろしくお願いいたします。
これもちまして、本日の議会報編集委員会
を閉会いたします。

議会報編集委員会 記録署名

令和3年6月10日

委員長 金谷幸則

署名委員 柏佳枝

署名委員 田辺裕三